



2022年8月23日発行
通算第233号

会員だより 2022年 9月号

NPO 法人 大田・花とみどりのまちづくり
〒146-0094 大田区東矢口 3-17-2-103
Tel&Fax. 03-3734-7932 / ✉ npoogc@yahoo.co.jp
<https://hanamidori.sakura.ne.jp/>

暑さに負けず、頑張っています！

先日、南久が原圃場の活動に参加された会員さんから、メールで数枚の写真が届きました。「暑さに負けず頑張っている皆さんの画像を送ります(^_^)」という文面が添えられています。生きもの相手の私たちの活動は、暑くても寒くても、基本的には休みがありません。メールをくださった方ご本人も、暑い中での作業の最中に、仲間たちの頼もしさを誰かに伝えたくて、思わず送ってくださったのだらうと思い、ご紹介したくなりました。事務局で全ての活動を見回ることができなくて申し訳ないですが活動にお邪魔して拝見した、皆さんの勇姿をお届けします。



↑南久が原圃場での作業風景



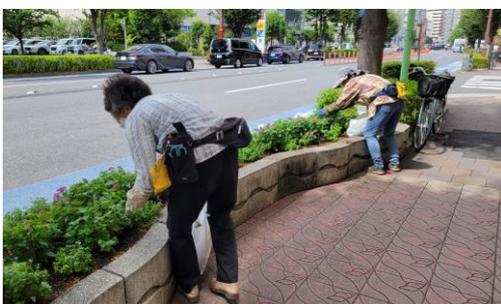
↑蒲田駅南口花壇。この花壇も工事予定でお別れの予感。花壇周辺はごみが大量。



↑蒲田駅西口シンボル道路花壇。



↑蒲田駅東口都道（あやめ橋）花壇。



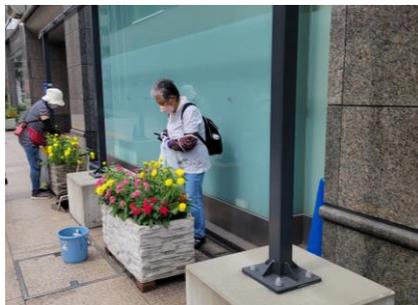
↑大森海岸通り花壇。風が強い。



↑入新井公園花壇。



↑大森駅前広場花壇。ホースを繋いで水やり。



↑本庁舎前花壇。



↑平和の森公園花壇の植え替え準備。

重要！事務局より…最近、郵便配達事情が変わり、郵便物が届くまでに時間がかかるようになりました。特に週末を挟むと、かなり多くの日数がかかるようです。これまで会員だよりは毎月25日前後に発送作業を行ってきましたが、今月より「25日までに皆さんのお手元に届ける」ことを目標に、発送日の調整を試みます。地域によっては、多少前後することがあるかもしれません。**25日より大幅に遅れて届くようなことがありましたら、事務局までご一報ください。**



みどりの縁側 ネイチャーウォーク 「セミの羽化観察」 8月6日(土)

みどりの縁側では毎年恒例8月第一週土曜日にセミの羽化観察会を開催しています。コロナ禍なので参加人数も少なく、アットホームな雰囲気の中上田氏からセミのレクチャーを受けていざ観察…ところが今年7時半過ぎてもセミの幼虫の羽化がなかなか始まらずみんなヤキモキ。そして8時になってやっと一匹の幼虫が羽化開始！神秘的な様子に子どもも大人も大興奮しました。

9月のネイチャーウォークは、9月3日(土)、テーマは「昆虫を探そう！」です。そろそろ、夕方になると虫の鳴き声が聞こえてきますね。13:30に「みどりの縁側」集合です。参加は事前申し込みが必要です。(金澤利奈)



♥ 森ヶ崎緑華園 緑華ガーデニングクラブ始動

以前よりご紹介しています「森ヶ崎緑華園」では、9月から毎月1~2回「緑華ガーデニングクラブ」の活動を始めることとなりました。クラブ活動のようなイメージで、集まった皆さんで、公園の草取りや花壇の手入れ、バラや樹木の剪定、花苗育て、などの作業を楽しみながら行うボランティア活動で、どなたでも参加できます。(定員あり)参加を希望される方は、**活動アンケートにて申し込みください。**

初回は9月11日(日)10時~11時30分で、「バラ園の夏剪定」を講師の指導により行います。25日(日)は草取りや花壇の手入れを予定しています。



↑工場を背景にしたバラ園

★「18色ガーデン・ボランティア活動」始動

区役所本庁舎前の植込みの一部を「18色の緑づくり」のPR花壇として活用し、お手入れしています。9月から月1~2回程度のお手入れ活動をスタートします。まずは9月21日(水)に初回の活動を行います。雨天中止、のゆるゆる活動を予定しています。



★ 徳持小学校開校70周年記念活動のお手伝い

近隣の小学校のサポーターさんから、花壇づくりのご相談を受けて、お手伝いすることになりました。まずは草の根っこ！取りからスタート。9月26日、10月24日、11月28日(いずれも月曜日)の14時頃から、栽培委員の子どもたちと一緒に活動します。お手伝いくださる方を募集します♪

※上記の活動への参加申し込みは活動アンケートにて！

安全 コラム

「肺マック症」って、ご存じでしたか？

雑誌や新聞で「シャワーとガーデニングに要注意」という文字を見てドキッ！読み進んでみると「肺マック症」とは、マック(MAC)菌という細菌の感染によって起こる肺の病気で、浴室でのシャワーやガーデニングなどの土いじりで感染する可能性がある、とのこと。マック菌は、土や水中のほか、浴槽のお湯の注ぎ口やシャワーヘッドのぬめりや湯垢にいて、しぶきや霧状の水滴、土ほこりなどが発生して、その中にあるマック菌を肺に吸い込むことで感染するそうです。人から人への感染は起こらないとされています。

初期症状としては、咳や痰で、病状の進行はゆっくり進むようで、服薬治療によって改善される、とのこと。怖がらせるつもりはないのですが、こんな病気もあることを知っておくとよいのかな、と思い、取り上げてみました。



■全国都市緑化フェアって！？

全国都市緑化フェアは『緑ゆたかなまちづくり』を目指し、毎年全国各地で開催される、国内最大級の緑の普及啓発イベントです。最近10年間ほど、知人や自分自身が関わる場面が出てきたことから、ほとんど毎年各所に足を運んでいます。

2020年度は広島が会場で、コロナ禍で何年もかけて準備されたイベントが開催できず、思うように集客もできませんでした。2021年度（熊本）、2022年度（北海道）は、感染拡大の谷間を縫うように開催され、どちらも盛況でした。先日、終了したばかりの恵庭市の公園「はなふる」をメイン会場として開催された「ガーデンフェスタ北海道2022」は、人口7万人の恵庭市に34万人の来場者を迎えました。個人の庭を公開くださる「オープンガーデン」で有名になった「恵み野」地区では、駅の改札を出たところで待ち受け、希望すれば「はなふる」まで個人のお庭を見せながら案内してくれる「まちなかボランティア」や、早朝からあちこちで草取りをされる方たちの笑顔があふれていました。人々が暮らす「まちなかエリア」もフェスタ会場の一部となり、多くの市民の皆さんが、自分のできることで、思い思いに温かく迎えてくださいました。

1カ月という短い会期ゆえに、たくさんの人たちが急いで押し掛けたかのようで、訪れた方はみな今回のフェスタの在り方に感嘆、感動され、「新しい都市緑化フェアの在り方を示してくれた。」と評される専門家も多くいます。今回の北海道フェスタが素晴らしかったのは、他の地域の形に惑わされることなく、日常的に関わっている、市民、行政、企業が知恵と力を結集してできる最大限を具体的にイメージして、無理のない形を追求したことがポイントではないかな、と思っています。フェスタのための特別な設えはもちろんありましたが「いつもの恵庭」の延長線上にフェスタがあった、という自然体が、訪れる私たちの居心地よさにつながりました。



↑メイン会場「はなふる」隣接するホテルより
↓美しすぎる商店街「花さんぽストリート」



←恵み野駅で待機する「まちなかボランティア」の皆さん



←フェア期間が終わってから訪れた際にも、駅前には草取りされる方たちの姿が…



美しいまちで暮らそう
えにわ
花のまちづくりプラン
2018～2027

スマホで見られます→



■「美しいまちで暮らそう」が合言葉『花のまちづくりプラン』

美しいまちは、限られた専門家が一方的に提案する大きな計画がもたらすものではありません。それは、自発的な地域コミュニティが相互に影響しあうことで、暮らしの足元から生まれていきます。（中略）「花のまちづくり」を通して、まちの個性が持続的に磨かれ、それぞれのコミュニティに強くなやかな命が通います。そこで人々は、世代を引き継ぎながら末長く心豊かに暮らすことができます。

※「花のまちづくりプラン（2018～2027）」より抜粋
生きた言葉で、とても分かりやすく力強く、夢あふれる言葉でつづられた「えにわ花のまちづくりプラン」には、これを作った、恵庭に暮らす市民の皆さんが目指す「花のまち」「美しいまち」に向けての、とても具体的なプランが描かれています。私たちも、大田区らしさ、大田区にふさわしいみどりのあり方、まちの姿、を具体的なプランとして描いていき、ひとつひとつ形にしたい、そんな勇気と元気を、恵庭からたくさんもらえたような気がしています。

↓「花のまちづくり」参考動画



引き続き、会員及び関係する皆さまの安心・安全な活動を第一優先とし、新型コロナウイルス感染拡大防止への配慮にご協力をお願いいたします。

<今月の会員だよりの同封物>

◆活動カレンダー ◆活動アンケート（会員のみ）◆「みどりの縁側」だよりの9月号 ◆せせらぎセミナーチラシ